



もてなしの心で語る わが街

えな自慢

えな自慢
えな祭 63

七日福市

東濃の福の神



▲市神社は多くの人でにぎわう

ひと口メモ

市神社があった大井町上宿付近は、良質なタバコを産出しており、毎年1月7日には、たばこ市が開催されていた。現在の七日市は、ここから始まっていると伝えられている。

七日福市は、お正月の7日に開催される大井町の市神社の縁日で、三百有余年の伝統を誇る。通称七日市と呼ばれている。この日は、恵那駅前から市神社を結ぶ通りに多くの露店が立ち並び、毎年数万人の人で大にぎわいとなる。市神社は福の神とされ、七日市にはお札様を迎えて、1年間の家内安全と商売繁盛を祈る。お札、福引きなどは、市神社の地元の町内が受け持ち、市内の各商工業者や団体が協賛して祭りを盛り上げる。あめ屋、茶わん売り、植木屋などの露天は、古くから続いている。



▲七日福市の日、駅前通りも歩行者天国に

東濃ヒノキ

木目が美しく丈夫な高級木材

えな自慢
えな祭 64



▲整然と立ち並ぶヒノキ

ひと口メモ

古くは江戸時代、尾張藩が御用林として管理し、名古屋城や本丸御殿の建築にも使用された歴史を持つ。また、さらにさかのぼり室町時代には、足利義政が造営した東山殿（現銀閣寺）や、南禅寺の用材としても利用された歴史を持つ。

東濃地域で生産される良質のヒノキ材。この地方は、海拔500から1,000㍍でヒノキの生育地のほぼ北限に位置し、やせ地で年間降水量が少なく、気温の寒暖差が激しいなど、ヒノキの成長に理想的な気候条件。東濃ヒノキの特徴は、通直、正円。成長には歳月がかかるが、年輪幅が細く均整で、木目が薄いピンク色で美しく、強度と耐久性が高いことにある。

戦後、作れば何でも売れた時代に、あくまで買い方の立場を尊重し、正しい寸法と乾燥により、高品質の製品を市場へ安定供給した。その結果、昭和30から40年代の極めて短い期間に、ブランド化を実現した。

市内の山で育てられている東濃ヒノキは、約381万立方㍍。東京ドームの容積に換算すると約3個分。



▲加工されて上質な木材に

次号は1月15日号
発行日は1月13日(金)です

広報えな No.165
2011年(平成23年)
12月21日発行

発行 恵那市役所/編集 企画課広報広聴係
岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1 ☎(0573)26-2111/☎25-6150
<http://www.city.ena.lg.jp/> ☒info@city.ena.lg.jp

『広報えな』1月1日号、1部当たりの印刷経費は約14.6円(税込み)です。



◀市安心安全メール配信システム
(登録用QRコード)
市WEB版文字放送システム
(閲覧用QRコード)
☐問い合わせ 防災情報課(内線317)



『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。
この印刷物は石油系インキではなく、地球に優しい植物油を使用したインキで印刷されています。

